

就学援助率と成績の関係

林 篤裕

(名古屋工業大学 社会工学専攻
& アドミッション副オフィス長)

e-mail: hayashi.atsuhiro@nitech.ac.jp



1

【例4】就学援助率:相関係数

- ◆就学援助率: 経済的に就学が困難な世帯
- ◆学力テスト: 国語(小5)、英語(中2)
- ◆両者に関係があるか? 格差社会? 相関は?
- ◆東京都の調査: 23区の例: $-0.89?$, $-0.79?$
- ◆シミュレーション: 23群のデータ
 - ◆成績の平均値は群により0.23から0.01まで -0.1 刻み, 分散は共通で1.0の正規分布を仮定, 各群で1000サンプルを発生
 - ◆結果: 23000サンプルの相関: -0.058
23区の平均値の相関: -0.88

これでは
言えなさそう

極端な差

2

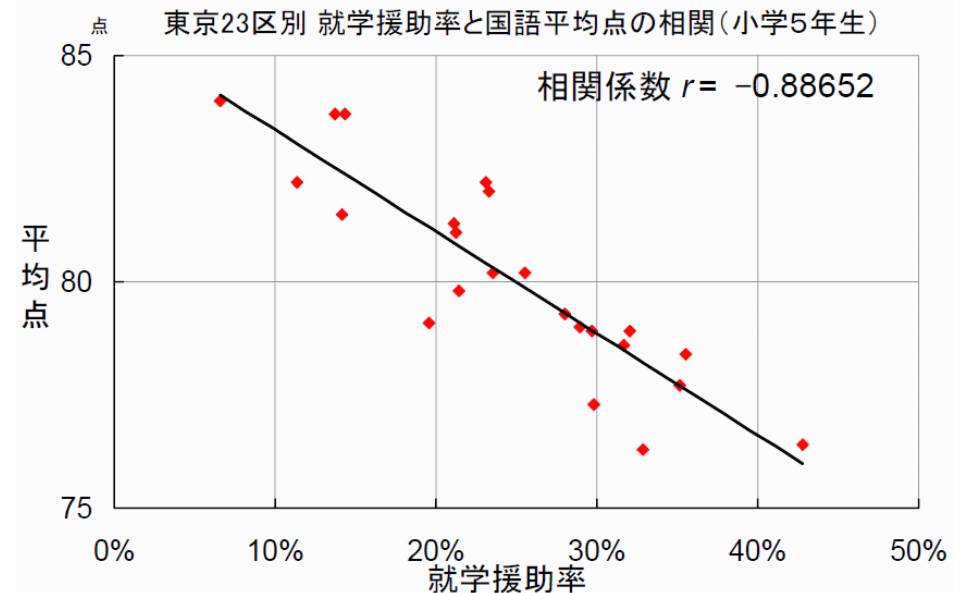
就学 援助率

東京23区別就学援助率

	小学校	中学校
A区	6.56%	7.02%
B区	13.70%	16.65%
C区	23.11%	33.70%
D区	21.14%	27.01%
E区	14.32%	18.22%
F区	21.43%	24.94%
G区	35.14%	38.94%
H区	31.66%	35.89%
I区	28.04%	29.98%
J区	11.39%	15.87%
K区	28.94%	29.26%
L区	14.19%	18.43%
M区	23.29%	28.35%
N区	23.52%	27.18%
O区	21.24%	23.66%
P区	19.57%	26.37%
Q区	29.72%	32.96%
R区	32.03%	38.68%
S区	35.55%	37.94%
T区	25.55%	28.35%
U区	42.81%	43.83%
V区	29.80%	34.27%
W区	32.83%	34.59%
23区平均	27.59%	31.09%

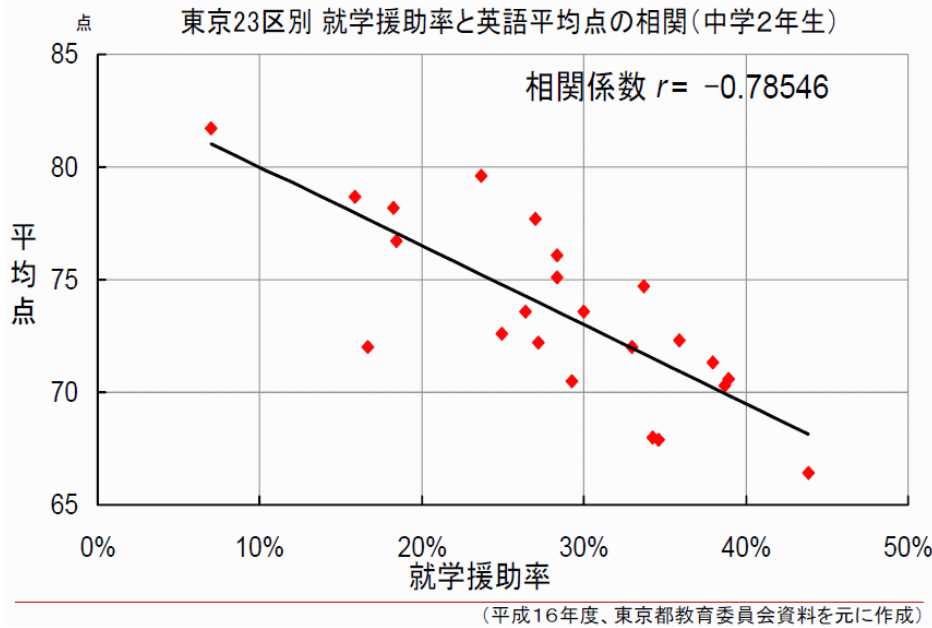
3

就学援助率と学力の関係

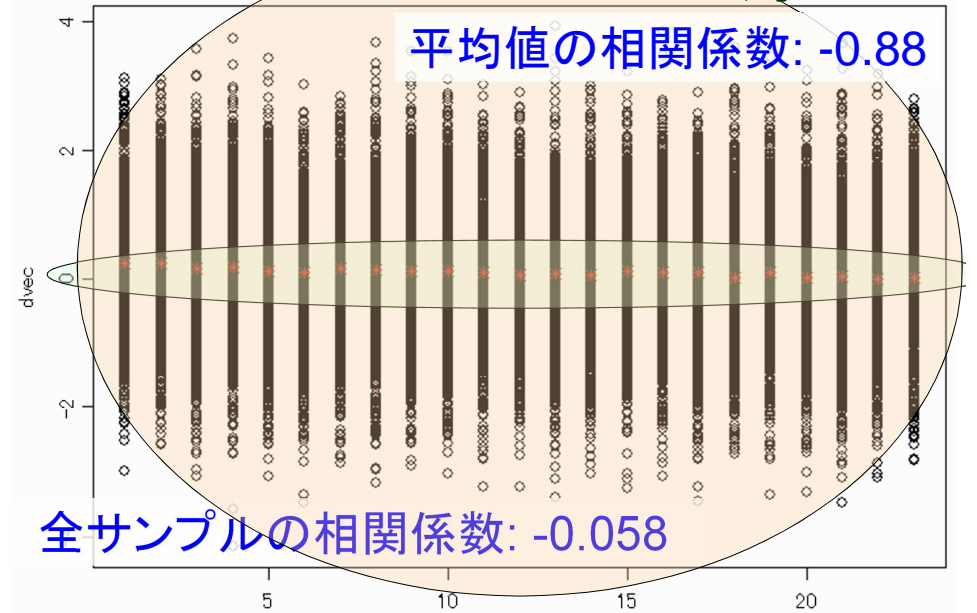


(平成16年度、東京都教育委員会資料を元に作成)

就学援助率と学力の関係



シミュレーション: 23000対23



'07学力調査 (就学援助率)

- ◆ 平成19年度全国学力・学習状況調査 調査結果について
- ◆ <http://www.nier.go.jp/tyousakekka/tyousakekka.htm>
- ◆ 4月下旬実施
- ◆ 小6, 中3
- ◆ 国語、算数・数学
- ◆ 120万人(悉皆調査)x2学年
- ◆ (77億円)

- ◆ **箱髭図の活用**
- ◆ 「ばらつき」の概念

朝日新聞 2007年10月25日

生活習慣も影響

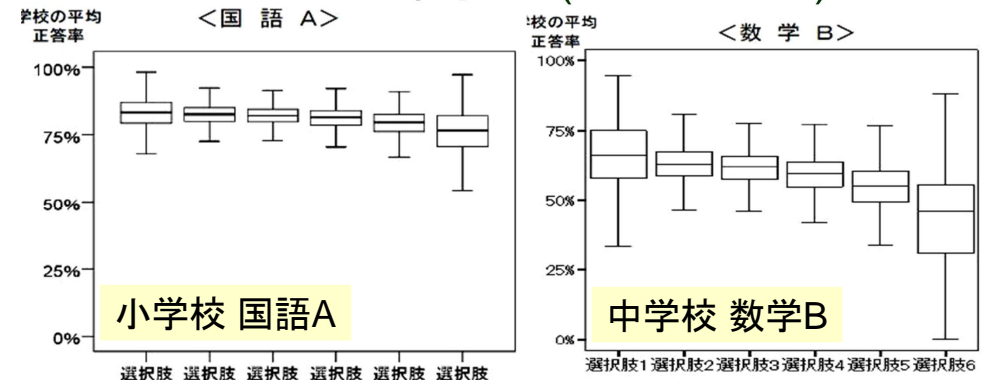
朝食食べる子、高得点
ゲーム好きは低い傾向

■ 援助者多い学校、ばらつき大

■ 中間と発表の順位と同一問題の正答率 (%)

学年	問題	正答	中間	発表の順位
小1	国語(国語の中で)	80.0	80.0	(国語)
小1	算数(算数の)	70.0	70.0	(算数)
小2	国語(国語の中で)	81.8	81.8	(国語)
小2	算数(算数の)	71.4	71.4	(算数)
中1	国語(国語の中で)	87.2	87.2	(国語)
中1	算数(算数の)	72.0	72.0	(算数)
中2	国語(国語の中で)	88.1	88.1	(国語)
中2	算数(算数の)	73.1	73.1	(算数)

'07学力調査 (就学援助率)



就学援助率

- 選択肢1: 在籍していない
- 選択肢2: 5%未満
- 選択肢3: 5~10%
- 選択肢3: 10~30%
- 選択肢4: 30~50%
- 選択肢6: 50%~

- ◆ 箱髭図: 集団の「ばらつき」を見るのに有効